

# 1973 年 春休み九州旅行①～北九州の旅

1973 年 3 月 12 日(月)～15(木)

【1973 年 3 月 12 日(月)】

(1) 日豊本線(別府～大分)、豊肥本線(大分～阿蘇)

1973 年の春休みに大学の友人 3 人と九州旅行に行きました。私は春休み帰省旅行で 2 月末に松山に戻っており、実家で 3 人を待っていました。友人たちは東北出身者 2 名と関東出身者 1 名で、それぞれ春休みに実家に帰っていたため 3 人が東京に集合し、それから私の実家に来て松山観光をした後に 4 人で九州旅行に出発しました。

当時は急行が利用できる周遊券が学生旅行の定番で、3 人は名古屋で途中下車をして名古屋の同級生と会って食事をしてから西に向かったそうです。今思うと、新幹線も利用しないで松山まで急行を乗り継いで頑張ったものだと思います。

松山の私の実家に 2 泊し、松山見物をして 3 月 12 日の朝 7 時に松山観光港と別府港を結ぶ関西汽船の「あいぼり丸」に乗船しました。当時は、大阪と別府を結ぶ関西汽船の別府航路が松山経由だったため、松山から別府方面に行く場合は便利でした。愛媛県の小中学校の修学旅行は九州方面に行くことが多く、私の小中学校は別府、中学校は中・南九州でした。

瀬戸内海は波も穏やかで揺れも無く、4 時間の船旅は快適でした。別府港に 11 時 10 分に到着し、別府の「地獄めぐり」と呼ばれる色々な温泉をめぐる観光をし、別府を 12 時 52 分発の急行「ゆのか 2 号」で大分に 13 時 04 分に到着しました。

大分からは豊肥本線で熊本方面に向かいますが、途中で阿蘇山の噴火口を見る予定があるため、今日の目的地は阿蘇でした。

日豊本線ダイヤ		
(急行)ゆのか 2 号		
別	府	12:52
東	別 府	↓
西	大 分	↓
大	分	13:04

<1973 年 3 月 12 日>

□松山観光港

| 7:00 発

| 関西汽船 別府航路「あいぼり丸」

| 11:10 着

□別府港

○別府

| 12:52 発

| 日豊本線(急行)ゆのか 2 号[大分行]12 分

| 13:04 着

○大分

| 13:35 発

| 豊肥本線(普通)[豊後竹田行]1 時間 23 分

| 14:58 着

○豊後竹田

| 16:13 発

| 豊肥本線(急行)火の山[博多行]55 分

| 17:08 着

○阿蘇



豊肥本線は、大分県大分市の大分から熊本県熊本市の熊本を結ぶ延長 148 km の路線で、当時は 29 駅でしたが現在は 37 駅あります。大分 13 時 35 分発の列車で豊後竹田に下車し、豊後竹田城（岡城）を見学しました。「荒城の月」の作曲者である滝廉太郎の出身地ということで、荒城の月は豊後竹田城からイメージを得たとも言われています。駅から城まで往復し、豊後竹田を 16 時 13 分発の急行「火の山」に乗り阿蘇に 17 時 08 分に到着しました。この日は阿蘇駅近くの旅館に宿泊し、夜は駅前を探索してパチンコ屋に寄り、酒屋で日本酒を買って部屋で

飲んだ覚えがあります。旅館の部屋で撮った 4 人の写真がありましたが、宿泊した旅館の名前は記録にありません。

スタンプ帳には阿蘇までの途中駅である三重町や宮地のスタンプも残っていたので、停車時間にホームに降りてスタンプを押したのだと思います。

豊肥本線のダイヤ①

	738D	火の山
大 分	13:35	15:03
滝 尾	13:41	↓
中 判 田	13:48	↓
竹 中	13:56	↓
犬 飼	14:04	↓
菅 尾	14:14	↓
三 重 町	14:26	15:41
牧 口	14:35	↓
緒 方	14:41	15:55
朝 地	14:54	↓
豊 後 竹 田	14:58	16:13
玉 来		↓
豊 後 萩		↓
滝 水		↓
波 野		16:51
宮 地		17:03
阿 蘇		17:08



大分



豊後竹田



三重町



宮地

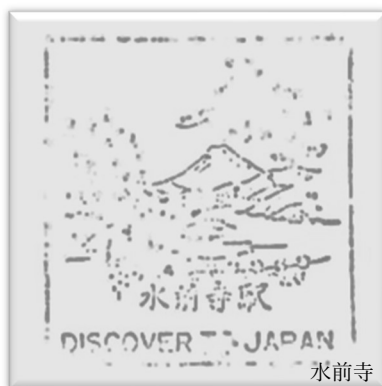
【1973 年 3 月 13 日(火)】

(2) 豊肥本線(阿蘇～水前寺)

この日は阿蘇山の火口までロープウェイで登り、どういう経緯だったか記憶にないのですが、下りは溶岩で覆われた山道をロープウェイ乗り場まで歩いて下山した覚えがあります。そんな観光客は他には居なかったと思いますが、下山途中の写真も残っており、ロープウェイ料金を節約することが目的だったのかもしれませんが。ロープウェイを降りてから阿蘇駅までは、バス代を節約する目的のためか 2 人ずつのグループに分かれてヒッチハイクで阿蘇駅に戻りました。

そんな無謀とも言えるプランでしたが、4人とも無事に阿蘇に到着し、11時39分発の列車に乗ることができ水前寺に12時48分に到着しました。その後、水前寺公園と熊本城を見学したのですが、なぜ熊本ではなく水前寺で下車したのかは不明です。

この時に撮影した9600型のSLの写真がありましたが、どこの駅で撮影したかの記録はありませんでした。その日は竜田口の近くにあった熊本大学の学生寮に泊めてもらいましたが、昔ながらの木造の古い寮でした。



<1973年3月13日>

○阿蘇  
| 11:39 発  
| 豊肥本線(普通)[熊本行]1時間09分  
| 12:48 着  
○水前寺

豊肥本線ダイヤ②

	734D
阿蘇	11:39
内牧	11:49
市ノ川	11:53
赤水	11:57
立野	12:11
瀬田	12:18
肥後大津	12:26
原水	12:30
三里木	12:35
竜田口	12:43
水前寺	12:48

【1973年3月14日(水)】

(3) 鹿児島本線(熊本~鳥栖)、長崎本線

<1973年3月14日>

○竜田口  
| 7:53 発  
| 豊肥本線(普通)[熊本行]8分  
○水前寺  
| 8:01 発  
| 豊肥本線(普通)[熊本行]15分  
| 8:16 着  
○熊本  
| 8:50 発  
| 鹿児島本線(急行)  
| さんべ1号[鳥取行]1時間24分  
| 10:14 着  
○鳥栖  
| 10:28 発  
| 長崎本線(急行)  
| いなき2号[長崎行]2時間20分  
| 12:48 着  
○長崎

昨日泊まった熊本大学の学生寮の最寄り駅である竜田口を7時53分発の豊肥本線に乗り、8時16分に熊本に到着しました。そして、熊本から長崎に向かうため、8時50分発の鹿児島本線の急行さんべ1号に乗り、鳥栖には10時14分に到着しました。

現在の鹿児島本線は、北九州市の門司港から小倉・博多・熊本を経由して八代市の八代までと、薩摩川内市の川内から鹿児島市の鹿児島までに分かれています。

当時は九州新幹線が無かったため八代から川内までも鹿児島本線でした。

豊肥本線ダイヤ③

	1726
竜田口	7:53
水前寺	8:01
南熊本	8:09
熊本	8:16



鹿児島本線ダイヤ

(急行)さんべ1号		
熊 本	8:50	
上 熊 本	8:55	
西 里	↓	
植 木	↓	
田 原 坂	↓	
木 葉	↓	
肥後伊倉	↓	
玉 名	9:16	
大 野 下	↓	
長 洲	↓	
南 荒 尾	↓	
荒 尾	9:30	
大 牟 田	9:36	
銀 水	↓	
渡 瀬	↓	
南 瀬 高	↓	
瀬 高	9:48	
船 小 屋	↓	
羽 犬 塚	9:55	
西 牟 田	↓	
荒 木	↓	
久 留 米	10:07	
肥 前 旭	↓	
鳥 栖	10:14	

鳥栖を 10 時 28 分発の長崎本線の急行いなさ 2 号に乗り、長崎に 12 時 48 分に到着しました。この列車は急行のため、長崎本線の新線(市布經由)を通して長崎に到着しました。ちなみに、大村湾沿いを走る旧線(長与經由)については、長崎からの戻りに乗車しました。

長崎では路面電車に乗り、大浦天主堂、グラバー邸、平和公園などを見学しました。長崎の路面電車は廃止された全国の電車が集まっており、古い電車もあったように思いますが、記憶に残っているのは車内での小銭の両替方式のことです。長崎の路面電車で両替をしてもらおうと 100 円分の小銭が入った小さなビニール袋を渡され、その袋を破って電車の料金を支払う方式でした。その当時、仙台にも松山にも路面電車はありましたが、この長崎方式の両替は初めての経験でした。

当時はインターネットでホテルを検索する手段も無い時代で、この日の宿は長崎駅の旅館案内所で紹介してもらった旅館に泊まりました。

その夜、稲佐山に登って長崎の夜景を見に行くかどうか 4 人で相談したのですが、賛同者が少なかったので夜景見学には行きませんでした。夕食は何を食べたか全く記憶に残っていません。有名な長崎ちゃんぽんを食べた記憶もなく、長崎の中華街にも行っていないので、どこかで安い定食でも食べたのではないかと思います。

長崎本線ダイヤ①

(急行)いなさ2号		
鳥 栖	10:28	
肥 前 麓	↓	
中 原	↓	
三 田 川	↓	
神 埼	↓	
伊 賀 屋	↓	
佐 賀	10:50	
鍋 島	↓	
久 保 田	↓	
牛 津	↓	
肥前山口	11:06	
肥前白石	↓	
肥前竜王	↓	
肥前鹿島	11:21	
肥 前 浜	↓	
肥前七浦	↓	
肥前飯田	↓	
多 良	↓	
肥前大浦	↓	
小 長 井	↓	
湯 江	↓	
小 江	↓	
肥前長田	↓	
東 諫 早	↓	
諫 早	12:24	
喜 々 津	↓	
市 布	↓	
肥前古賀	↓	
現 川	↓	
浦 上	12:45	
長 崎	12:48	



【1973 年 3 月 15 日(木)】

(4) 長崎本線 (浦上～喜々津)、三角線

旅館で朝食を食べ、長崎を 7 時 32 分発の列車で諫早まで戻りました。長崎本線は鳥栖市の鳥栖から長崎市の長崎までを結ぶ 125.3 km の路線で、喜々津から長与を経由して浦上までの間に 23.5 km の旧線があります。今日の長崎からの帰りの列車は長与経由だったような記憶がありましたが、念のため時刻表で確認したところ、間違いなくそのとおりでした。

諫早からは路線バスで雲仙国立公園内の雲仙岳など見てから島原外港に向かい、その港から九州商船の天草パールラインで三角の近くの松島港まで行きました。今ではこのフェリーも廃止になりましたが、1 時間 30 分の短い船旅でした。

三角線は、熊本県宇土市の宇土から熊本県宇城市の三角を結ぶ 25.6 km の路線で 8 駅あります。この日は三角を 16 時 34 分発の熊本行の列車に乗り、宇土に 17 時 11 分に到着した時点で三角線は全線乗車となりました。その後、列車は鹿児島本線に入って熊本駅に 17 時 25 分に到着しました。

<1973 年 3 月 15 日>

○長崎  
| 7:32 発  
| 長崎本線 (普通)[佐世保行] 54 分  
| 8:26 着  
○諫早  
| 路線バス 諫早～雲仙公園～仁田峠  
| 路線バス 仁田峠～雲仙公園～島原外港  
□外港  
| 14:25 発 九州商船  
| 天草パールライン 白川丸 1 時間 30 分  
| 15:55 着  
□松島  
○三角  
| 16:34 発  
| 三角線 (普通)[熊本行] 51 分  
| 17:25 着  
○熊本

長崎本線ダイヤ②

		828D
長	崎	7:32
浦	上	7:35
道	ノ 尾	7:43
長	与	7:48
本	川 内	7:57
大	草	8:06
東	園	8:11
喜	々 津	8:18
諫	早	8:26



三角線のダイヤ

		540D
三 角 線	三 角	16:34
	波 多 浦	16:37
	赤 瀬	16:45
	網 田	16:50
	肥 後 長 浜	16:55
	住 吉	17:00
鹿 児 島	緑 川	17:04
	宇 土	17:11
	川 尻	17:17
	熊 本	17:25